



ふくもっちゃんの部屋 ～展示コーナー～

西口ライブラリーのカウンター周辺には、半月～2か月に一度の頻度で本の入れ替えをする特集展示コーナーを多数設置しております。貸出されていても予約できます。

☆**今月の特集**…ライブ発信の記事「展示名作案内」で紹介した本の展示。

☆**時事展示**…スポーツや各種文学賞を受賞した本、追悼展示など、時事に合わせた展示。

☆**小さな本棚**…職員がテーマを決め、おすすめの本を紹介文と共に展示。

☆**ブックトラック展示**…月に合わせて選んだテーマ2つを、棚付き台車の両面で展示。

☆**YA展示**…毎月テーマを変え、中高生（ヤングアダルト）向けの本を展示。

☆**書庫から来ました**…普段は書庫へ入っている少し古めの資料を展示。

役割の違う展示を、日々の読書へご活用下さい！

朗読会「^{とき}ことのほの時間」を開催します

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時：令和8年9月13日(日)

午後2時30分～(40分程度)

場所：コラッセふくしま3階 302会議室

定員：15名(先着順)

※事前申し込み・参加費は不要です

文学講座のお知らせ

『宮沢賢治の魅力を探る

福島との関連を中心として』

日時：令和8年10月29日(木)

午後2時～3時30分

場所：コラッセふくしま3階 302会議室

定員：20名(参加費無料)

※申し込みは10月7日から受付いたします。

詳細は館内チラシ、市政だよりをご覧ください。

図書館カレンダー 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

図書館カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

印は休館日

印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

2026年9月2日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

図書館
ホームページ



福島市西口ライブラリー広報

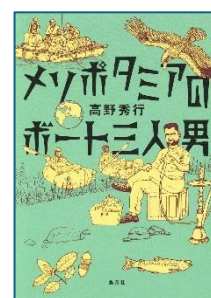


西口ライブ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2026年
9・10月号

新着本案内



『メソポタミアのボート三人男』

高野 秀行 著

集英社(292タカノ)

西アジアを流れるティグリス＝ユーフラテス川を手漕ぎボートで下る旅に出た探検好きの男たち。治安の悪さや体調不良に苦しみながらも、沿岸で出会う人々と交流し、食や音楽などその土地の文化に触れた壮大な川旅の記録です。



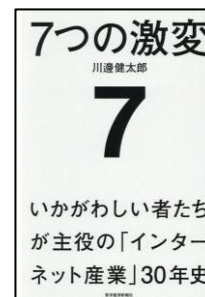
『自律神経が整う

セルフケア事典』

川嶋 朗 著

KADOKAWA(498カワシ)

だるい、疲れやすい、食欲不振、頭痛、肩こり…、これらの症状の原因は「自律神経の乱れ」が原因かもしれません。患者の状態に合わせてさまざまな医療を行う統合医療の視点から、食べ物や運動の仕方などを紹介します。



『7つの激変』

川邊 健太郎 著／東洋経済新報社(007カワバ)

お金になると言われていなかったネットという「いかがわしい」遊びは、いかにして世界を牛耳る巨大なビジネスへと変わったのか。LINE ヤフーの元会長が、インターネット黎明期の事を、熱を帯びたエピソードと共に語ります。



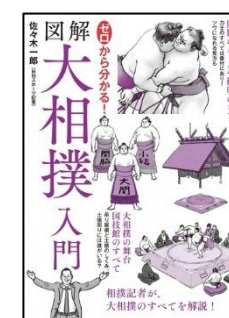
『世界で一番楽しい

キリンの生態学』

齋藤 美保 監修

エクスナレッジ(489セカイ)

首の長い動物と言えばキリンですが、特徴はそれだけではありません。長い首を支える体のヒミツや母子で群れをつくる子育て術など知られざる生態を解き明かします。写真とイラスト満載でキリンの不思議を楽しく学べます。



『ゼロから分かる！

図解大相撲入門』

佐々木 一郎 著

世界文化社(788ササキ)

スポーツでもあり神事でもあり、伝統文化でもある相撲。本書では基本ルールや弓取り式、土俵の作り方など、大相撲の魅力を幅広く解説しています。大相撲記者である著者ならではのトピックも豊富で、ファンも楽しめる1冊です。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

バラバラな世界で共に生きる 朱 喜哲 著／NHK出版(133ロテイ)	海が天に届くとき 愛野 史香 著／角川春樹事務所(Fアイノ)
最新研究でわかった日本の旧石器時代 山岸 良二 著／河出書房新社(210. 2ヤマギ)	造反有理 稲羽 白菟 著／行舟文化(Fイナバ)
いまこそ行きたい日本周辺クルーズ船のたび 小磯 紀子 著／メイツユニバーサルコンテンツ(290コイソ)	そうだ、君を憎めばいいんだ 桜庭 一樹・斜線堂 有紀 著／河出書房新社(Fサクラ)
アンビバレント 鈴木 エイト 著／講談社(326スズキ)	横浜共同租界 佐々木 譲 著／光文社(Fササキ)
トランスジェンダー・ティーンネイジャー ニコ・ラング 著 安齋 奈津子 訳／柏書房(367ラング)	天保釣り合戦顛末記 土橋 章宏 著／小学館(Fドバシ)
ポリ袋で作るかんたん米粉パン 吉永 麻衣子 著／KADOKAWA(596ヨシナ)	御成敗式目の殺人 羽生 飛鳥 著／中央公論新社(Fハニユ)
英語史で解く英文法の謎 堀田 隆一 著／NHK出版(830ホッタ)	夜の喜劇 東川 篤哉 著／東京創元社(Fヒガシ)
暮らしの信じ方 古賀 及子 著／ダイヤモンド社(914. 6コガチ)	今日もひといき 上田 健次 著／KADOKAWA(PFウエダ)
わたしを忘れないで アリス・ホフマン 著 三辺 律子 訳／NHK出版(933ホフマ)	レーモンドさんの小さな家 内山 純 著／KADOKAWA(PFウチャ)
遠近法 ローラン・ビネ 著 高橋 啓 訳／東京創元社(953ビネロ)	大阪電車春秋 山本 巧次 著／西日本出版社(PFヤマモ)

作家と



出 会 い

宮沢賢治が自費出版した詩集『春と修羅』。いわき市出身の詩人・草野心平が、同じく詩人の高村光太郎にこの詩集をすすめたところ、光太郎は高く評価しました。光太郎が妻の智恵子と共に楽しそうに読んでいたという心平の回想も残っています。

大正 15 年に上京した賢治は、彫刻家でもある光太郎のアトリエを訪ねたことがあります。しかし、光太郎は仕事で手が離せず、玄関口で別れたと伝えられています。賢治はその後、昭和 8 年にこの世を去ってしまい、あの短い時間が二人の最初で最後の対面となってしまいました。賢治没後、光太郎は賢治の全集制作などに関わり、彼の作品を広める活動を行います。賢治の作品が沢山の人の目に読まれるようになったのも、あの出会いがあったからなのかもしれません。

参考文献：『遺稿「デクノバウ」と「暗愚」』北川 太一 著 小山 弘明・北川 光彦 監修／文治堂書店（9 1 1．5 キタカ）

『賢治と「星」を見る』渡部 潤一 著／NHK出版（9 1 0．2 ミヤザ）

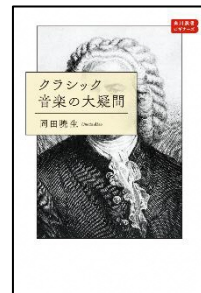
ライブラリアンの

展示★名作案内



こだわり

～これだけは、ゆずれない！～



音楽と歴史には意外な繋がりが。

『クラシック音楽の大疑問』
岡田 暁生 著
KADOKAWA(760オカダ)
指揮者は何のためにいるのか？ バッハはなぜ凄いのか？ どうして曲が長いのか？ クラシック音楽に関する素朴な疑問に、専門家が答えます。現代音楽との関係にも触れており、普段何気なく聴いている曲の奥深さを再発見できるかも。



幼い頃のあるあるが題材に。

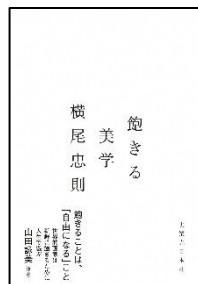
『白線以外、踏んだらアウト』
田丸 雅智 著
光文社(Fタマル)
「手のひらに人と書いて飲むと緊張が解ける」、「白線から落ちたら死ぬ」、誰しも一度は聞いた事のあるおまじないや遊び、ことわざを題材にショートショートの名手が大胆アレンジ。ほっこりするような短編が10本収録されています。



思い出のある物、あなたは捨てられますか？

『捨てたい人捨てたくない人』

群 ようこ 著／幻冬舎(Fムレコ)
服、本、手紙や写真…、捨てられない物は人によって様々です。引っ越しでコレクションを手放さなければならない夫婦の葛藤や、母が買いすぎた備蓄品の後始末など、片づけにまつわる喜怒哀楽をユーモラスに描きます。



現代美術家の著者は、現在なんと90歳！

『飽きる美学』
横尾 忠則 著
実業之日本社(914.6ヨコオ)
「描くのに飽きた！」が口癖の横尾忠則。そんな彼は、飽きる方が自然体、飽きて変化が止まった人生を味わうのが楽しいのだと語ります。飽きたからこそ見えてきた、芸術の魅力や生きることについて綴ったエッセイです。



小さくて、かわいいもの好きにはたまらない！

『箸置きの世界』
串岡 慶子 著
平凡社(596クシオ)
野菜、縁起物、和楽器など様々な形をした箸置きは食卓に彩を添えてくれます。季節や料理によって変える楽しみ方や歴史など、著者の豊富なコレクションとともに紹介します。暮らしのアクセントに箸置きを取り入れてみませんか。